

第3回オンライン講演会ご案内

「近現代の日本と海」 ～海洋国家の地政学、仏領インドシナ日本進駐など

背景: 日本は本土5島を含む大小様々の6852島島を領有する島嶼国家であり世界有数の海洋国家である。ミシュラン教授は日本の近代史と現代史をご専門とされ、それに関するご著書やご講演を多くなされている。日本語も堪能であられテレビにもよく出演されています。今回は日本が海洋国家でありその歴史的な東アジアの国々とのかかわりをどのように位置付けるのかをご披露していただきます。米国のアルフレド・マハンが海路を支配する国は世界を制覇するとしています。19世紀前半に欧米列強は東アジアまで膨張した時代に日本の将来は海と深く結び付きました。フランスも南太平洋に多くの海外領土を有する一大海洋国家です。2019年6月のマクロン安部合意の2国間協力ロードマップにもこの防衛分野の日仏協力が謳われています。



講師: フランク・ミシュラン

略歴: 帝京大学教授ルネサンス・フランセーズ日本代表部会員、フランス出身の歴史学者。

2018年 Académie des sciences d'outre-mer (フランス海外学術院) 会員に選出。上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科にて英語の国際関係史ゼミ。前明治大学国際連携機構特任准教授。モントリオール大学東アジア研究所客員教授。2015年、博士論文『太平洋戦争直前の仏領インドシナと日本の南進』で日本にて第32回渋沢・クローデル賞、同年、同論文でフランス海外学術院研究奨励賞受賞。2019年4月その授賞論文を《La guerre du Pacifique a commencé en Indochine 1940-1941: 1940-1941》のタイトルで単著をPASSÉS COMPOSÉSより上梓。日本の時事問題、近現代史、日仏関係、欧州全般について、日仏メディア、雑誌などで活躍。ソルボンヌ大学 (Sorbonne Université) 附属ローラン・ムニエ研究所協力研究員、日仏会館・フランス国立日本研究所協力研究員。専門は日本近現代政治経済史、日本近現代軍事史、アジア国際関係史。使用言語は話し言葉と読み書き含めフランス語、日本語、英語。

司会: 瀬藤澄彦 **operation 技術:** 山田朋子 **広報:** 森由美子、伊藤朋子

日時: 2021年3月3日(水) 17時00～18時15

17:00 開会・講師紹介 17:05 講演 18:00 質問 18:15 閉会

言語: 日本語

申込: ルネサンス・フランセーズ日本代表部HP:

申込期限: 3月2日